



インターネットでの情報提供	
提供予定日	平成23年4月20日

平成23年4月19日(火) 県政記者クラブ配布資料		
担当課	担当者	電話番号
研究開発課	研究開発担当 梅村澄夫	058-272-1111(内線 2484)
岐阜県研究開発財団	産学官連携支援センター 箕浦秀樹	058-379-2212(内線 3116)

## 「地域資源発掘活用プロジェクト事業」の成果紹介について

平成21年度から23年度にかけて、財団法人岐阜県研究開発財団（各務原市、理事長佐藤道夫）が実施している「地域資源発掘活用プロジェクト事業」について、下記のとおり成果をご紹介します。

この事業は、県内企業、組合、大学及び研究機関等から構成される研究会が、県内の農林水産物や鉱工業製品、その生産・加工方法等の産業技術、観光資源など地域の特色ある産業資源、または新たに地域として価値を高めたい素材といった「地域資源」を活用して、新商品・新サービスの開発等を目指す研究会活動を支援するものです。

今回ご紹介する3つの事業については、いずれも、販売商品の開発にまで至っている事例であり、今後の商品の販売展開が大きく期待されているものです。

### ＜具体的な成果＞

#### （1）東濃ヒノキ、長良スギの間伐材を利用した木工製品の開発、販売

- 事業主体：中津川針葉樹活用プロジェクト（（有）内木木工所（中津川市）の他県内2企業）
- 概要：薄板として利用すると反りが発生するヒノキやスギについて、「反りやすい」という弱点を克服した新たな素材加工方法を開発。（なお、生活技術研究所（高山市）が製品評価に協力）
- 今後の展開：平成22年1月に特許出願済。また、この加工方法を用いたオリジナルキッチンウェア（台所用品）等を商品化し、平成23年度に販売予定。

#### （2）瑞浪市特産マコモタケの調理済食品の開発、販売

- 事業主体：瑞浪マコモ特産品開発研究会（中京学院大学中京短期大学部、瑞豊食品（株）（瑞浪市）、瑞浪市商工会議所、瑞浪市等）
- 概要：瑞浪市が特産化を目指しているマコモタケについて、新たな加工、調理方法を研究し、マコモタケ入りレトルトカレーを開発。
- 今後の展開：平成23年度に、瑞浪市の農産物等直売所で販売予定。

#### （3）飛騨高山産ペレットストーブの開発、販売

- 事業主体：飛騨高山産ペレットストーブ開発研究会（（株）共栄製作所（高山市）の他県内7企業）
- 概要：高山市内の学校等に導入されているペレットストーブ（木質の固形燃料を用いるストーブ）は県外・海外メーカーのものばかりであったため、研究開発から設計、部品製造、組み立て等を、すべて高山市内の企業で行うペレットストーブを開発。性能面でも、省スペース化（国内住宅事情にあわせて床面積比で14%減）、低燃費化を実現。（なお、生活技術研究所が製品評価に協力）
- 今後の展開：平成23年2月から、学校、事業所及び住宅等への販売を開始。

<参考>

(1) 東濃ヒノキ、長良スギの間伐材を利用した木工製品



テーブル



ノートパソコンバッグ

(2) 瑞浪市特産マコモタケの調理済食品



マコモタケ入りレトルトカレー

(3) 飛騨高山産ペレットストーブ



飛騨高山産ペレットストーブ

## 【地域資源発掘活用プロジェクトの概要】

### (1) 事業主体

県内企業、組合、大学及び研究機関等のいずれか3者以上で構成されるグループからなる研究会

### (2) 事業概要（平成21～23年度）

#### 【研究会事業】

- ・ 県内の地域資源の発掘活用を目指した研究会活動に対して助成  
（助成限度額）20～50万円／年間 （助成率）2／3以内

#### 【試作・実証試験事業】

- ・ 県内の地域資源を活用した研究会活動の中から発生したテーマ等について、さらにその可能性を探るために行う試作、実証試験に対して助成  
（助成限度額）1研究会あたり300万円 （助成率）10／10以内

●実施機関：(財)岐阜県研究開発財団

〒509-0109 各務原市テクノプラザ一丁目1番地

TEL：058-379-2212 FAX：058-379-2215

## 【平成21～22年度の実績】

### ◆平成21年度

#### ・ 助成件数

22件（内訳：研究会事業12件、試作・実証試験事業10件）

#### ・ 助成金額

17,865千円（内訳：研究会事業1,939千円、試作・実証事業15,926千円）

### ◆平成22年度

#### ・ 助成件数

17件（内訳：研究会事業4件、試作・実証試験事業13件）

#### ・ 助成金額

17,312千円（内訳：研究会事業834千円、試作・実証事業16,478千円）